

ADVANTEST®

2020年度（2021年3月期） 第3四半期決算説明会

2021年1月28日
株式会社アドバンテスト

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

ご注意

会計基準について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている実績や見通し数値は、国際会計基準（IFRS）に基づいて作成しています。

将来の事象に係る記述に関する注意

- 本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

本資料の利用について

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、各国の著作権法、特許法、商標法、意匠法等の知的財産権法その他の法律及び各種条約で保護されています。事前に当社の文書による承諾を得ない限り、法律によって明示的に認められる範囲を超えて、これらの情報を使用（改変、複製、転用等）することを禁止します。



2020年度第3四半期決算報告

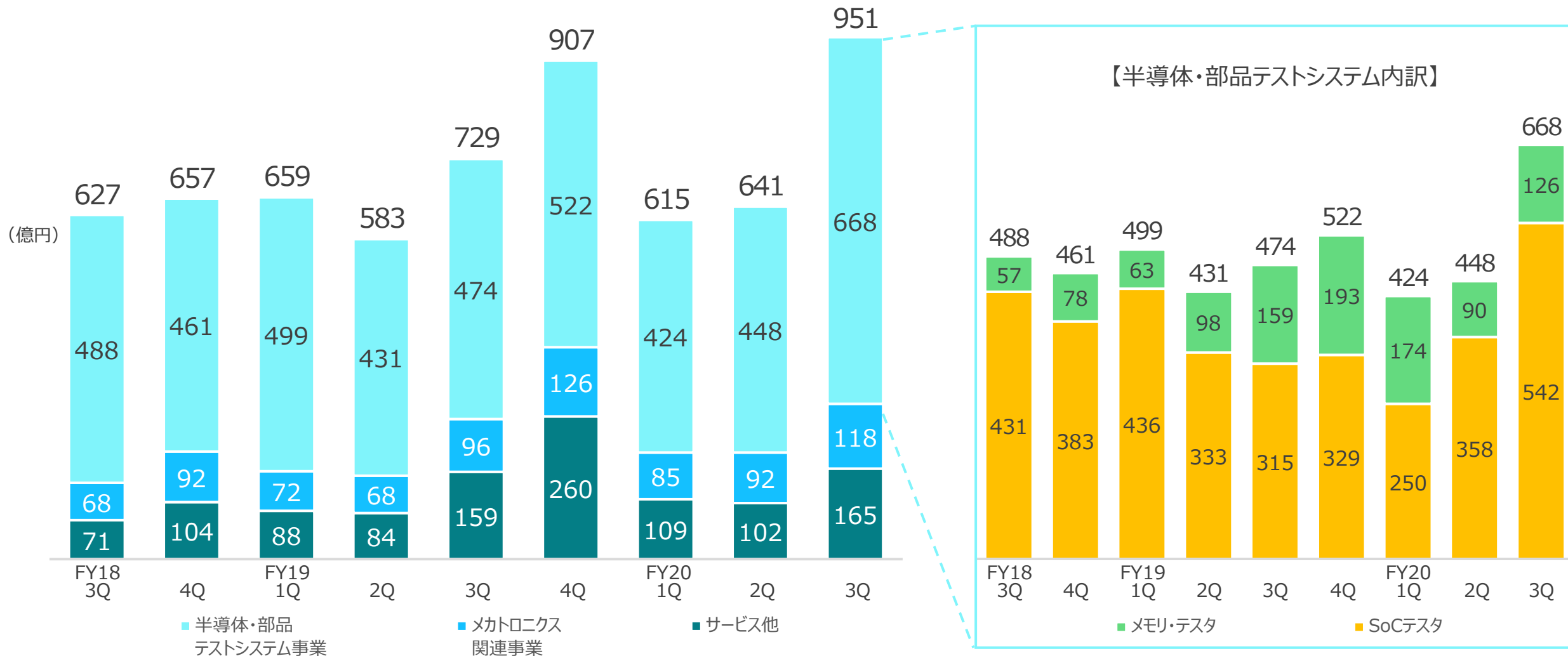
取締役 兼 常務執行役員 藤田 敦司

四半期業績推移

(億円)

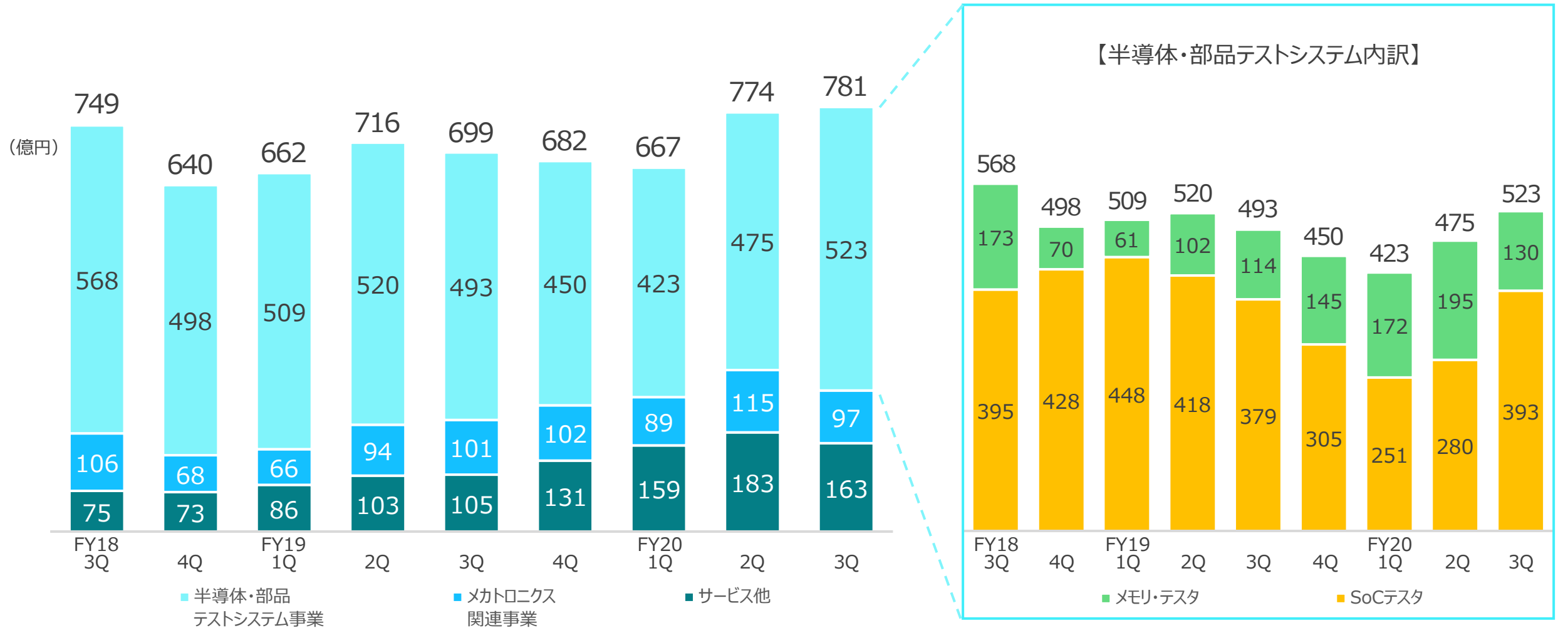
	FY19				FY20				前期比		前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	増減額	増減率	増減額	増減率	
	受注高	659	583	729	907	615	641	951	+309	+48.2%	+221	+30.4%
売上高	662	716	699	682	667	774	781	+7	+0.9%	+82	+11.7%	
売上総利益	394	410	394	367	380	416	402	-15	-3.6%	+8	+2.0%	
売上総利益率	59.5%	57.3%	56.4%	53.8%	56.9%	53.9%	51.5%	-2.4pts		-4.9pts		
営業利益	152	177	142	116	135	174	153	-22	-12.8%	+10	+6.9%	
営業利益率	22.9%	24.8%	20.4%	17.0%	20.2%	22.6%	19.5%	-3.1pts		-0.9pts		
税引前四半期利益	149	184	145	108	129	164	139	-26	-15.7%	-6	-4.4%	
四半期利益	121	147	119	148	106	139	120	-19	-13.7%	+1	+0.7%	
四半期利益率	18.3%	20.5%	17.1%	21.7%	15.8%	18.0%	15.4%	-2.6pts		-1.7pts		
M&Aに伴う受注残の増加				+42								
受注残	746	613	643	910	857	725	895	170	23.4%	+252	+39.2%	
為替レート	1米ドル	111円	108円	108円	110円	108円	107円	105円	2円 円高		3円 円高	
	1ユーロ	125円	121円	119円	121円	118円	123円	124円	1円 円安		5円 円安	

四半期受注高 事業セグメント別



*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

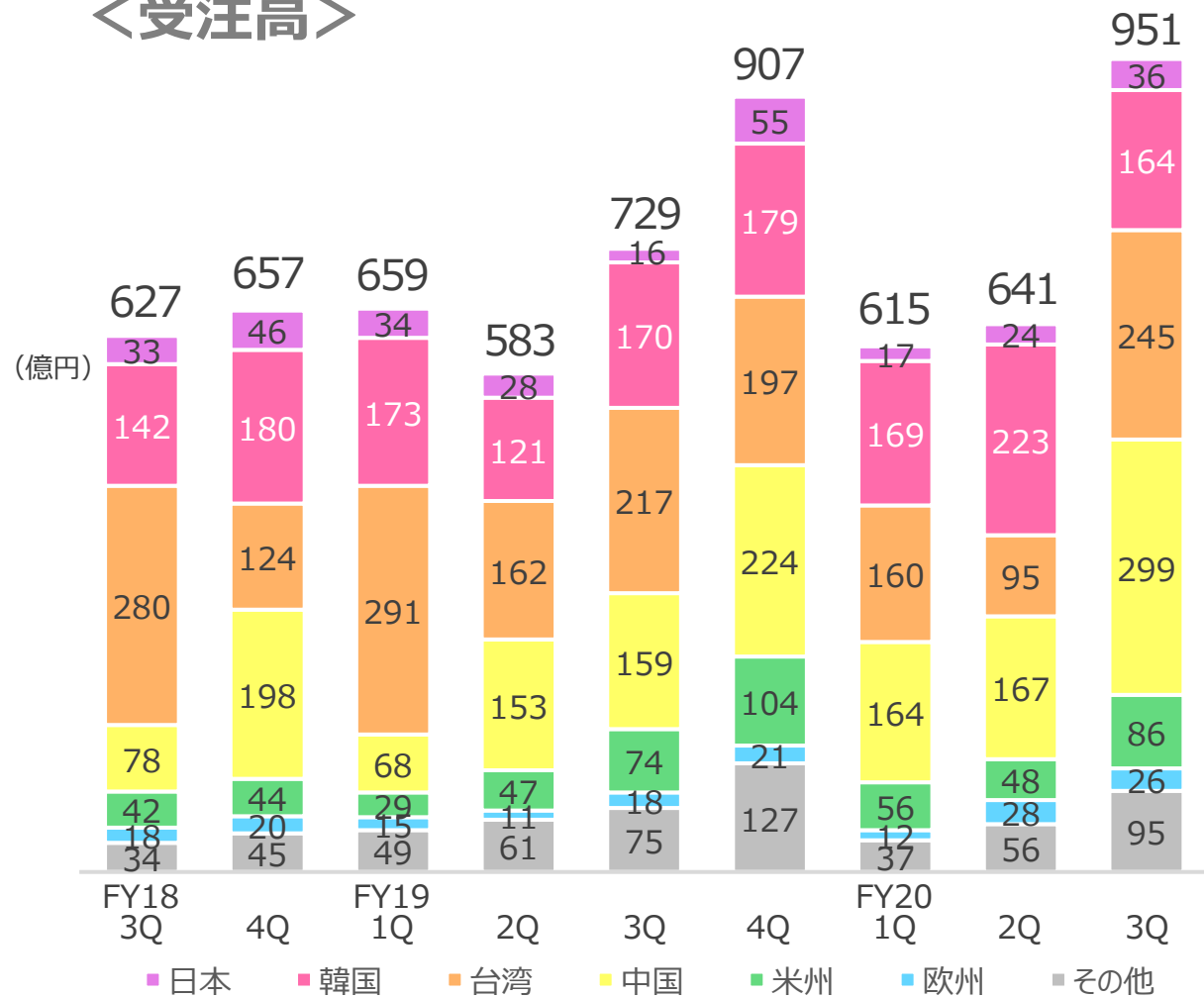
四半期売上高 事業セグメント別



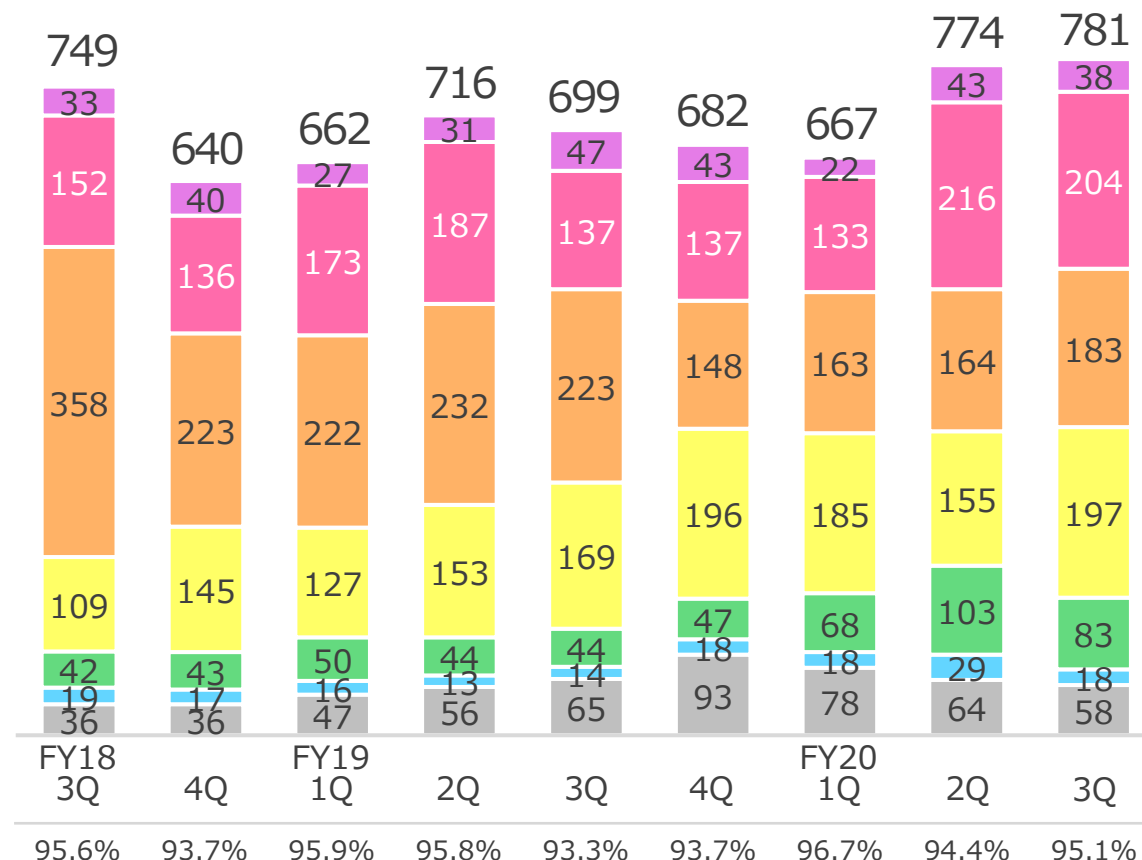
*合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

四半期受注高/売上高 地域(出荷先)別

<受注高>

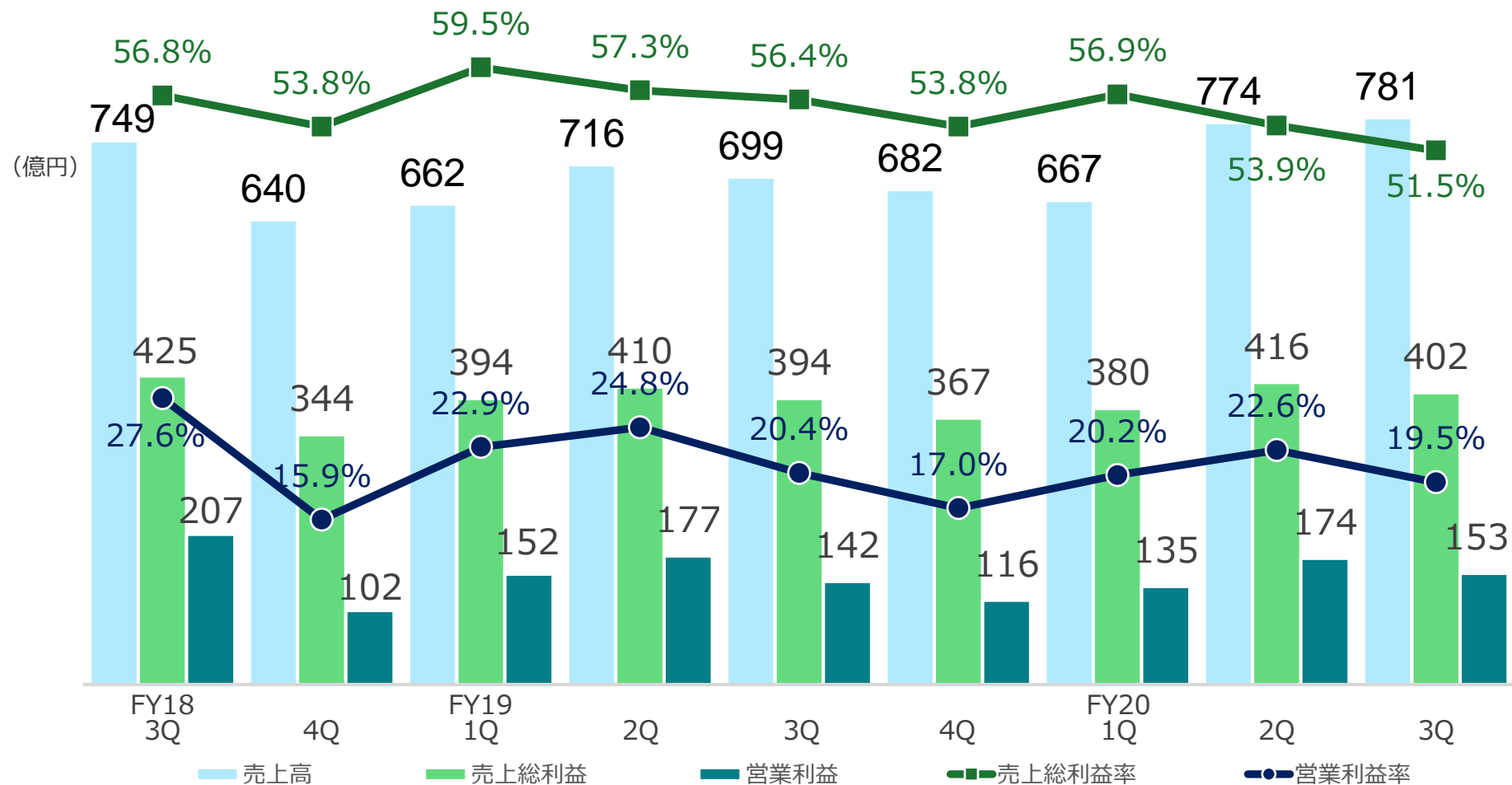


<売上高>



海外売上高比率

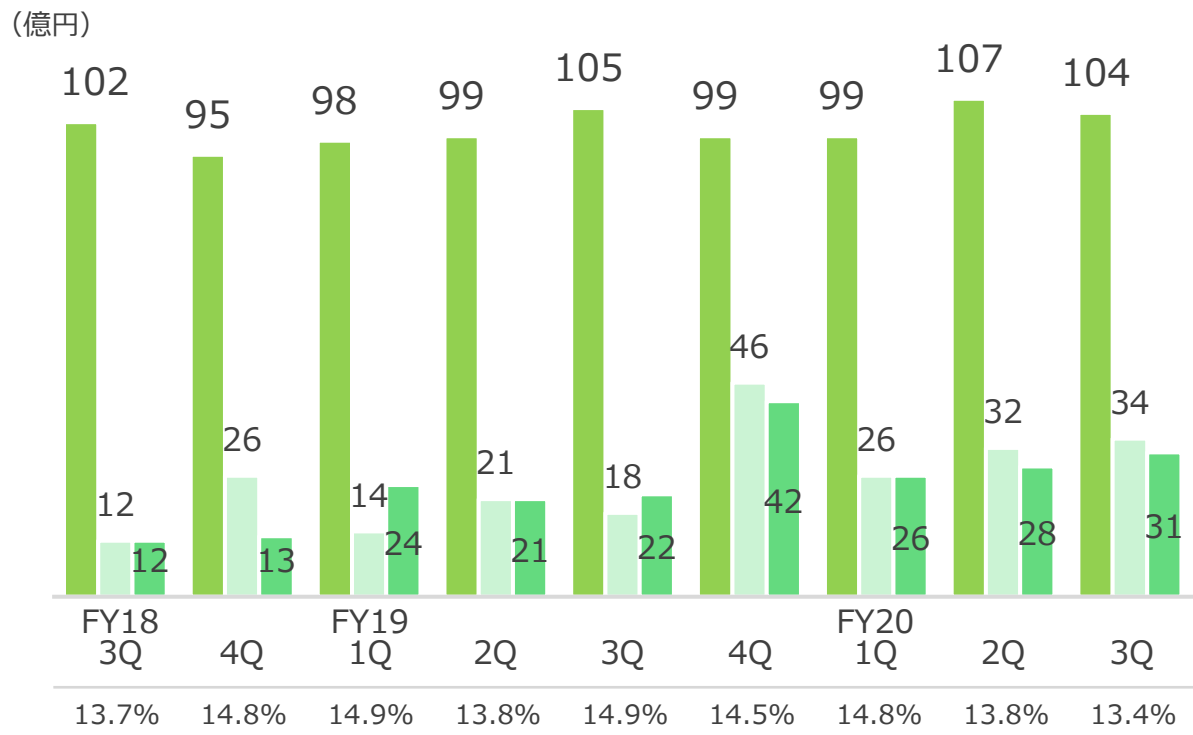
売上高/売上総利益/営業利益



投資等/キャッシュ・フロー

<投資等>

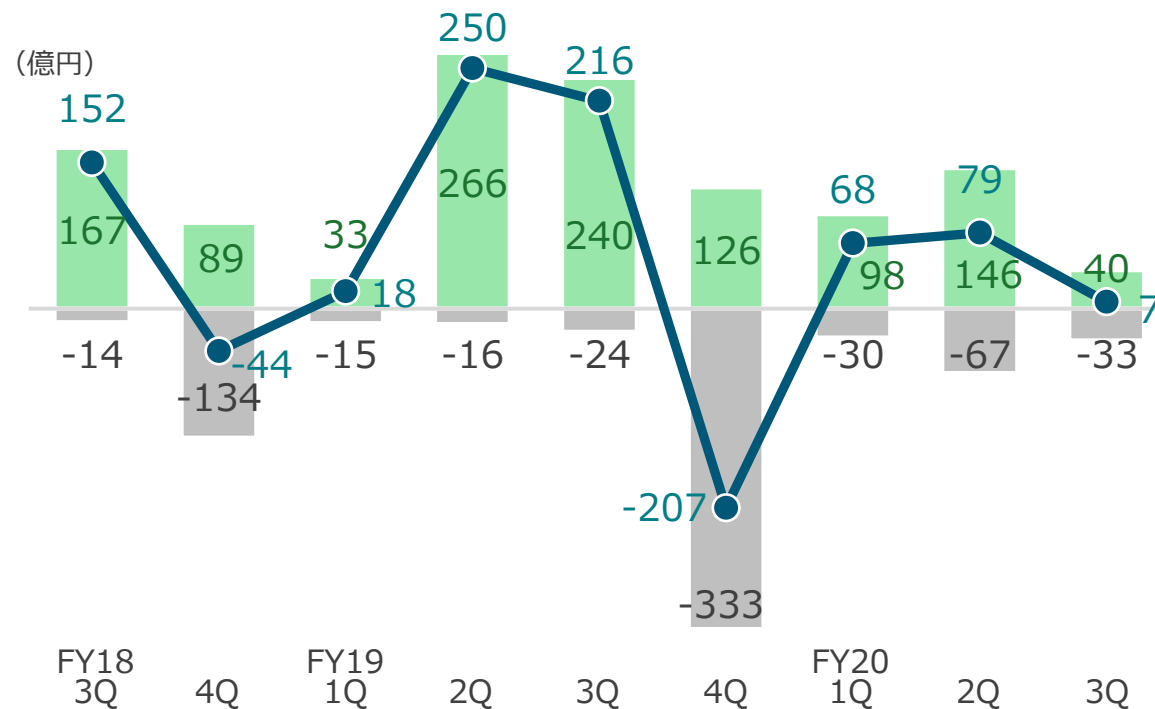
- 研究開発費
- 設備投資
- 減価償却費



研究開発費売上高比率

<キャッシュ・フロー>

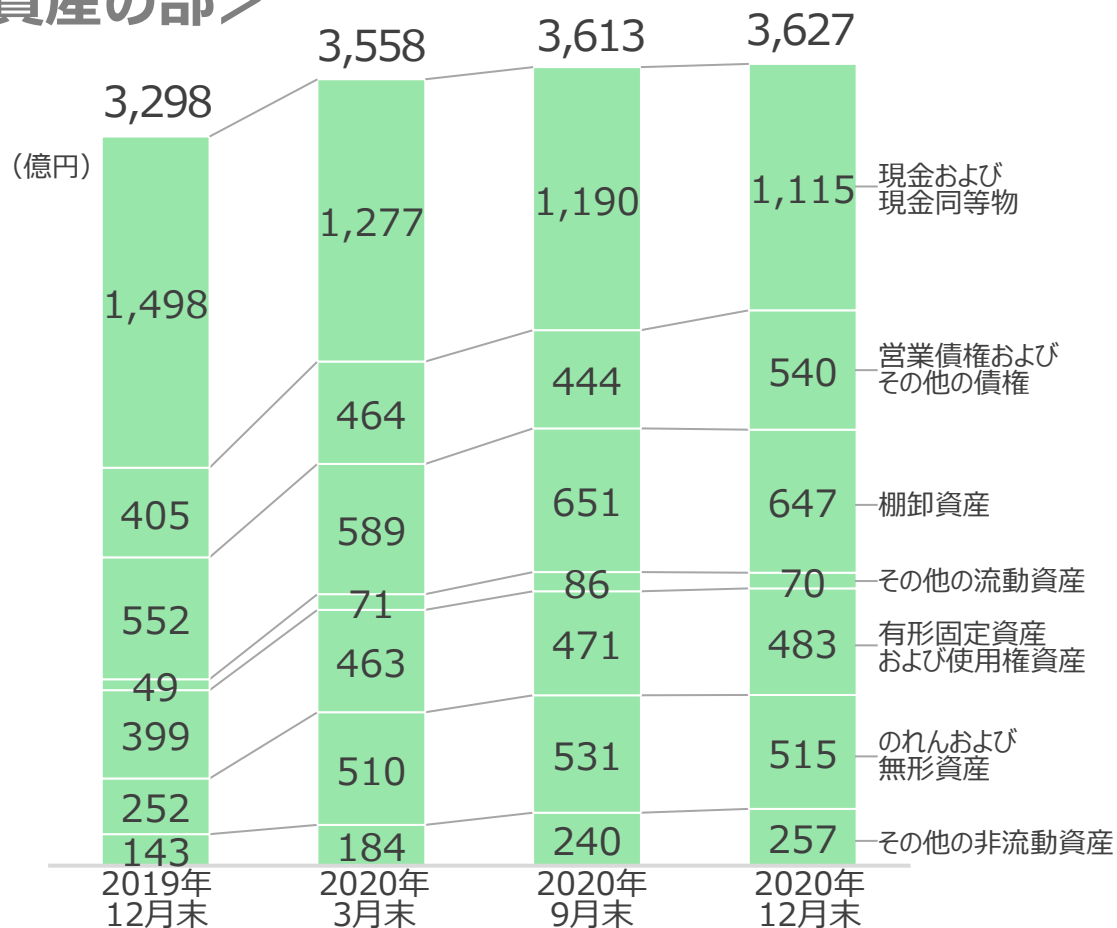
- 営業キャッシュ・フロー
- 投資キャッシュ・フロー
- フリー・キャッシュ・フロー



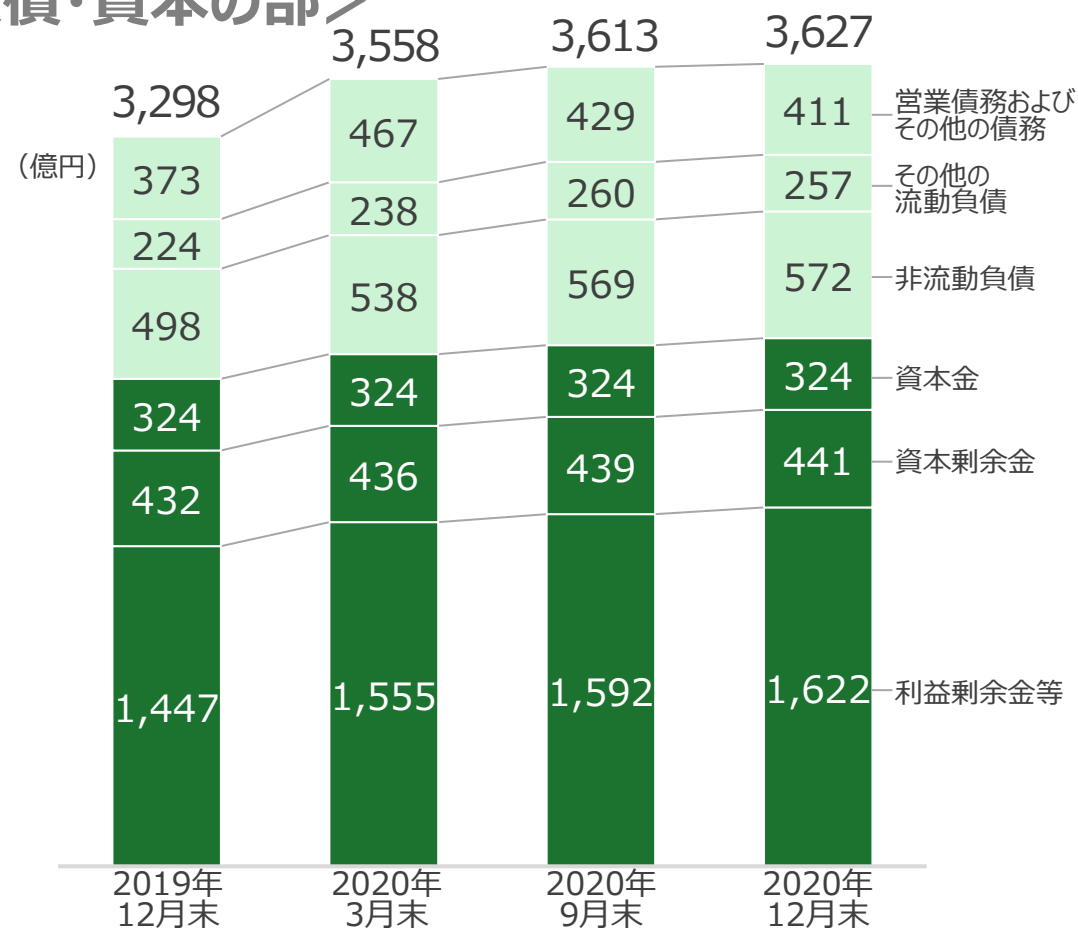
*フリー・キャッシュ・フロー = 営業キャッシュ・フロー + 投資キャッシュ・フロー

連結財政状態

<資産の部>



<負債・資本の部>



親会社の所有者に 帰属する持分	2,203	2,315	2,355	2,387
親会社所有者 帰属持分比率	66.8%	65.1%	65.2%	65.8%

2020年度事業見通し

代表取締役 兼 執行役員社長 吉田 芳明

半導体テスト市場の動向 <21年1月時点の見方>

CY20実績（暫定）

- SoCテスト市場：米中摩擦の影響を受けたが、5G/北米スマートフォン関連、HPC向けテスト需要が力強く推移しオフセット
- メモリ・テスト市場：データセンター投資の伸び、WFH対応需要の立ち上がり、中国メモリ投資の拡大で、市場回復

CY21予想

- SoCテスト市場：半導体の進化と同期したテスト能力向上投資が市場を牽引する構図は不変。HPCや5Gスマートフォン向け先端プロセス品やディスプレイ・ドライバーIC(DDI)向けのテスト強化に期待
- メモリ・テスト市場：メモリの微細化、大容量化、高速化/広帯域化が引き続きテスト需要を拡大すると期待

	CY18実績	CY19実績	CY20実績（暫定）	CY21推定
SoCテスト市場	約\$2,550M	約\$2,700M	約\$2,800M (10月時点推定:「約\$2,700M」)	約\$2,800M-3,000M
メモリ・テスト市場	約\$1,150M	約\$650M	約\$1,100M (10月時点推定:「約\$1,000M」)	約\$1,100M-1,300M

FY20業績予想

(億円)

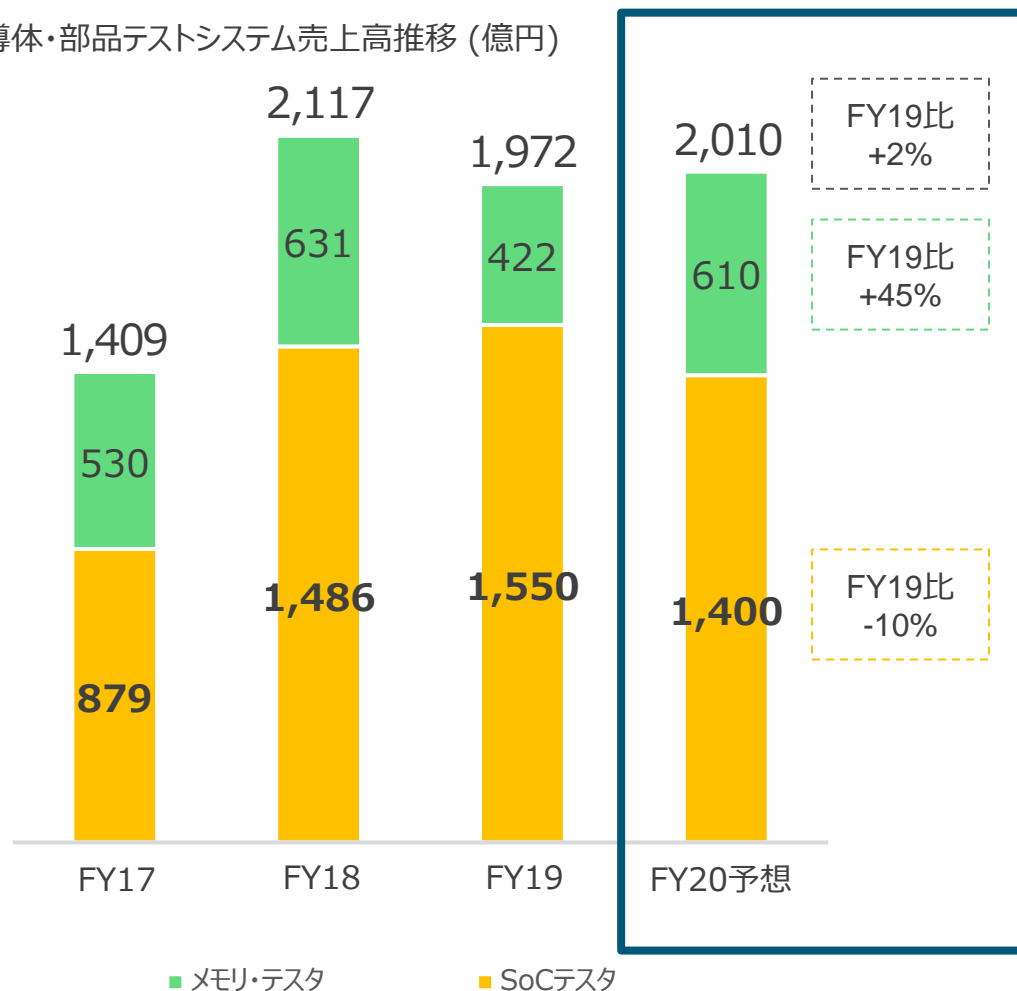
	FY19	FY20					前年度比		(参考)新旧予想比較	
	実績	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q予想	通期予想	増減額		10月時点 FY20予想	修正額
							増減額	増減率		
受注高	2,878	615	641	951	893	3,100	+222	+7.7%	2,600	+500
売上高*1	2,759	667	774	781	828	3,050	+291	+10.5%	2,750	+300
営業利益	587	135	174	153	208	670	+83	+14.1%	525	+145
営業利益率	21.3%	20.2%	22.6%	19.5%	25.1%	22.0%	+0.7pts		19.1%	+2.9pts
税引前利益	586	129	164	139	208	640	+54	+9.3%	509	+131
当期利益	535	106	139	120	250	615	+80	+14.9%	425	+190
当期利益率	19.4%	15.8%	18.0%	15.4%	30.2%	20.2%	+0.8pts		15.5%	+4.7pts
受注残	910	857	725	895	960	960	+50	+5.5%	760	+200
研究開発費	401	99	107	104	110	420	+19	+4.7%	410	+10
設備投資	99	26	32	34	38	130	+31	+31.3%	120	+10
減価償却費	109	26	28	31	30	115	+6	+5.5%	110	+5
為替レート*2	1米ドル	109円	108円	107円	105円	105円	106円	3円 円高	106円	-
	1ユーロ	121円	118円	123円	124円	125円	122円	1円 円安	120円	2円 円安

*1: 合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

*2: 為替レート変動が当社のFY20営業利益に与える影響の最新見通しは、対米ドルが1円安時+7億円です。対ユーロは-1.5億円です

FY20見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム売上高推移（億円）



半導体・部品テストシステム事業

<SoCテスト>（10月予想比 +230億円）

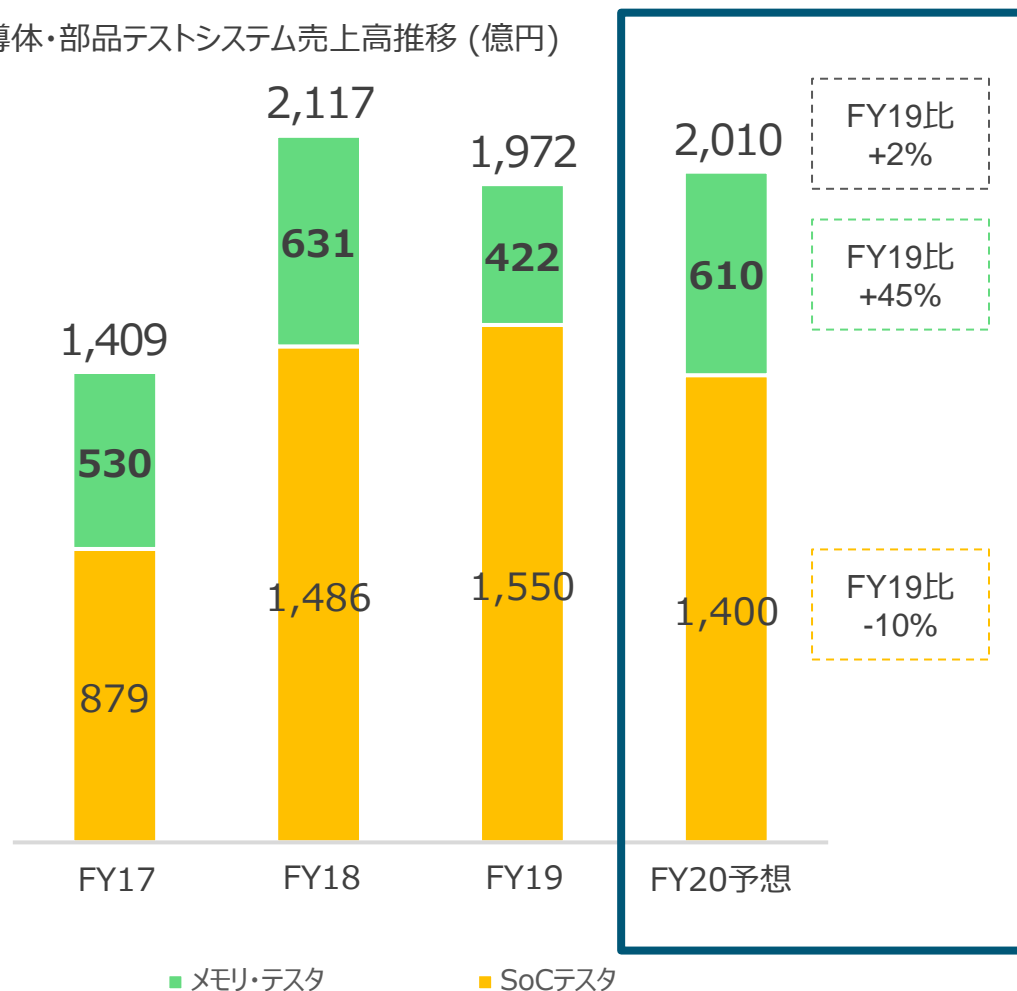
- スマートフォンプレーヤー間の競争が、アプリケーション・プロセッサ(APU)やDDIなど関連するSoC半導体のテスト需要を押し上げ。今年度の売上予想を大幅修正
- DDIは有機ELパネル高機能化に伴うタッチセンサー組み込み対応需要も増加
- 4QもHPC/5Gスマートフォン関連中心の展開を想定

【現中計における売上拡大への取り組み進捗（予想）】

	FY15-17 平均	FY18-20 平均	増減率
SoCテスト	791億円	1,479億円	+87%
メモリ・テスト	353億円	554億円	+57%
合計	1,142億円	2,033億円	+78%

FY20見通し（事業別）

半導体・部品テストシステム売上高推移（億円）



半導体・部品テストシステム事業

<メモリ・テスト> (10月予想比 +40億円)

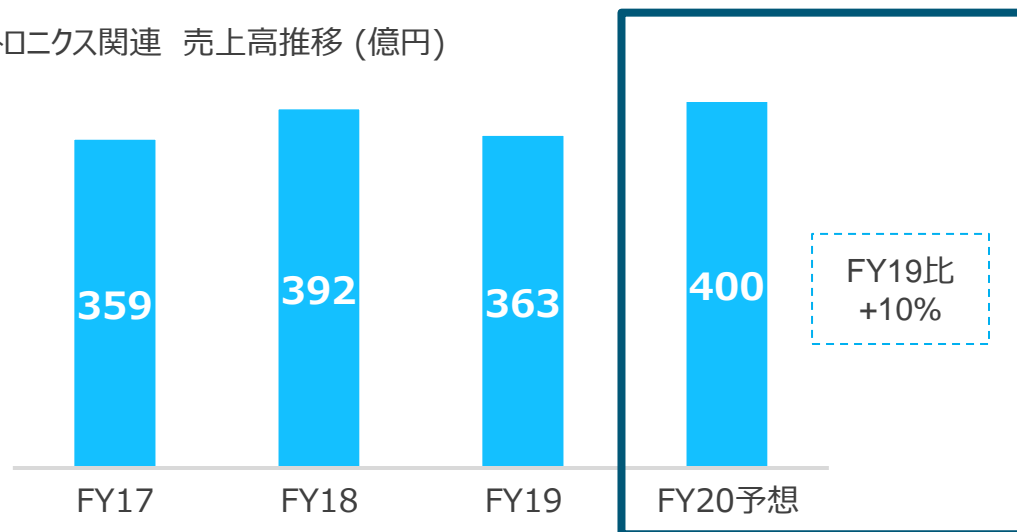
- データセンターの投資に連動したサーバー用メモリ需要や、ゲーム機器用の高性能メモリ向けテスト需要が当社の売上を牽引中
- 中国顧客の量産設備投資も堅調に推移
- 4Qは、DRAM、不揮発性メモリともに堅調な引き合いを見込む

【現中計における売上拡大への取り組み進捗（予想）】

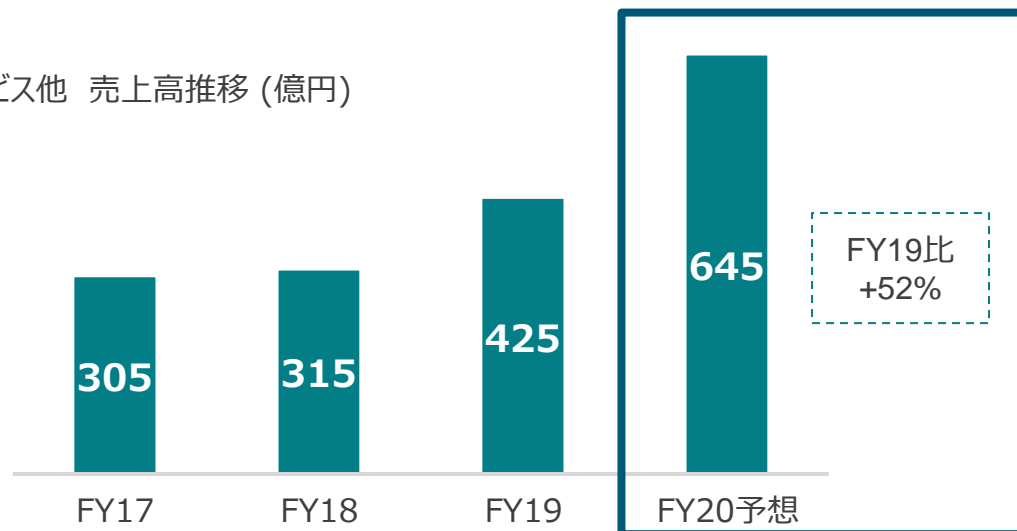
	FY15-17 平均	FY18-20 平均	増減率
SoCテスト	791億円	1,479億円	+87%
メモリ・テスト	353億円	554億円	+57%
合計	1,142億円	2,033億円	+78%

FY20見通し（事業別）

メカトロニクス関連 売上高推移（億円）



サービス他 売上高推移（億円）



メカトロニクス関連事業（10月予想比 +20億円）

–メモリ・テストと連動性の高いインタフェース製品が伸長

【現中計における売上拡大への取り組み進捗（予想）】

	FY15-17 平均	FY18-20 平均	増減率
メカトロニクス関連	309億円	385億円	+25%

サービス他事業（10月予想比 +15億円）

–Essai社の連結効果に加え、システムレベル・テスト事業が全般的に好調に推移、前年度比大幅増収を見込む

–フィールド・サービス事業も設置台数の増加で底堅く推移

【現中計における売上拡大への取り組み進捗（予想）】

	FY15-17 平均	FY18-20 平均	増減率
サービス他	300億円	462億円	+54%

サマリー

- CY20はコロナ禍にあってもWFH関連需要やデータセンター投資の活発化、およびスマートフォン向け半導体などでの高性能化の持続がテスト市場を牽引
- 米中対立で生じたスマートフォン関連サプライチェーンにおける余剰設備消化は3Qで概ね完了
- 環境好転に伴い通期受注予想を500億円、売上予想を300億円引き上げ、過去最高の受注高・売上高を目指す。現中計の計数目標はすべて達成見通し
- コロナ禍の収束時期や世界経済の回復時期は不透明ながらも、CY21もテスト市場の拡大を見込む
- 移動制限や工場操業低下による調達・生産への影響を注視、製品とサービスの提供が滞らないよう徹底

ESG・外部評価関連トピックス

統合報告書2020発行



再生可能エネルギーの国際イニシアチブ
「RE100」に加盟

中国子会社が「美世卓越健康雇主」の
優秀実践賞を受賞

コーポレートガバナンス・オブ・ザ・イヤー®*2020
Winner Companyを受賞

RE100

CLIMATE
GROUP



Corporate Governance
of The Year